

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Daisy kids堺		
○保護者評価実施期間	2024年 5月 25日	～	2024年 8月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日	～	2024年 8月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 8月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている	スタッフ全体で日々のこどもの様子を共有し、様々な角度から必要な支援や支援の方向性を検討している。	以前よりもさらに個別性の高い支援を実現するために、スタッフ全体で視点について共通理解ができるよう研修・支援会議を引き続き行う。
2	ご家族へのサポート	電話やメール等での相談があった場合、時間調整を行いながら、ご家族の思いに寄り添い、一緒に方向性を導き出せるように面談等を行っている。 利用予定日に利用が難しい場合は、振替を調整し対応しています。	年3回の保護者会では、保護者同士の交流や学びの時間を設けているので、ご意見を聞きながら、安心して通所できる環境を整えていきます。
3	年齢や発達段階に応じたメニューの提供を心掛けている	ルーティンの動きを大切にし、不安を減らし、自立に繋げていくプログラムです。同じ体幹トレーニングでも、教具を変えたり、配置を変えたりするなどし、利用児の視点に立ちプログラムを組んでいる	児童記録を通じ、スタッフ間でもそれぞれの関わりを共有できるようにし、偏りの無いようにしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新しく入職した職員とご家族との面識や交流の機会が少ない	勤務時間や日数の関係上、送迎添乗員としての勤務時間がないこと。面談や担当者会議に出る職員が限定されている。	可能な限り、送迎の際、保護者とのコミュニケーションを意識する。写真等の紹介を作成する。年3回開催されている保護者会では、多くの職員が面識を持てるようにする。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Daisy kids堺
------	-------------

公表日 2024 年 10 月 25 日

利用児童数 23人

回収数 15

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	87%	13%			子供の活動においては、もう少し広い方が良いかと思うが、先生方の目の届く範囲を考えると適切な広さとも思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	93%			7%	新しい先生も増えて名前と顔が一致しなくなってきたので、先生の一覧が見れると嬉しいなと思います。	保育園、幼稚園、保護者様にスタッフ紹介一覧表（顔写真付き）を配布させていただきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					今後も行き届いた配慮ができるよう努める。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				・複数の施設を見学したことがありますが、活動スペースの清潔さは整理整頓は、こちらが1番綺麗だと思います。 ・とても清潔で、安心して預けられます。	
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				個別で相談に乗っていただいたり、保育園との懇談に出席いただいたり、ニーズや課題点等を一緒に見つけ、今後の取り組みに生かしていただいております。保護者としては大変感謝しています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90%					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	93%			7%	発達になる部分に対し、日々どういうことを意識して対応してもらっているか等がもう少し見えたらと思います	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%				・固定の活動プログラム等はあるが、個別支援等で様々なことに取り組んでいたという認識です。 ・色々なゲームを取り入れられていて、楽しそうです。 ・毎回利用する度にいろんな活動をして下さり子供達も飽きない、楽しんでいます。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	53%	20%	7%	20%		
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	47%	20%		33%	・保護者会や出張美容室など、とても助かっています。 ・保護者に寄り添いその都度お話しする機会をつくってくださっています。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				子供の課題だけでなく、成長についても報告したくなるような先生方との関係作りができています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	80%	13%		7%	常に保護者に寄り添ってくださり、悩みを共有してくれて面談の時間を作ってくれたり連絡シートやお迎え時にお話ししやすい気になることがあればお電話くださりほんとうに助かっています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	90%			10%		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	87%	7%		7%	・保護者同士の連携というより、参観日のような感じがありました。もう少し保護者同士、意見交換しやすい機会があると嬉しいです。 ・年に数回保護者会の時間を作ってくれて子供達の様子や、保護者同士で話す時間も有り悩みを共有したりすることもでき本当にありがたいです。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	93%	7%			相談や申入れについては、迅速・丁寧に対応し、その説明は明確・丁寧なものであるように努めます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	73%	13%		13%	SNSでは、定期的に活動概要や行事予定、日々の子供たちの様子やスタッフの思いなど発信するように心がけています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93%			7%	今後も個人情報の取り扱いについては、十分注意していきます。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	80%	13%		7%	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは、周知されていないという認識です。様々な緊急時マニュアルをメール等で配信していただけると、幸いです。災害が起きた場合はネットが使えないことも懸念されるので、事前に配信してもらえると良いかと思えます。 ・緊急時対応マニュアルなど保護者がいつでも閲覧できるようにすると思います。 ・保護者会にして周知や、避難訓練などをしっかりしてくれています。 	対策している内容や訓練内容等、保護者会や面談時に、都度ご説明できるようにしていきます。通常、玄関の本棚にマニュアルをおいています。面談時等の来所してくださった際には目の届くところに配置しております。その他の周知方法についても、保護者会等で議題とし、検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	93%			7%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会での避難訓練に関して、とても良かったと思います。避難訓練の中で見えた課題をどのように改善するか等のフィードバックがあれば、避難訓練に参加した保護者としてはより安心です。可能であれば、建物の耐震性も知りたいです。 	年に一回の保護者同席の避難訓練（外へ出る）を行います。月に1回は事業所内で行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	80%			20%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	93%			7%	行くことを楽しみにしています！！	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・先生方皆様のおかげで、とても成長しました。なにより本人が楽しく通っていて、保護者としても、安心して通所させることが出来ています。先生方には感謝しています。 ・定められている規定を遵守して運営しているだけでなく、保護者の個々の状況に配慮して精神面でもケアしてくださっています。 ・デージーキッズさんに出会えたことで子供も私も本当に救われています。子供も本当に楽しみにして毎回楽しんで帰ってきています。親に寄り添ってくださり悩みや不安なことを聞いてくれてアドバイスや保育園訪問等行動してくれて本当に嬉しいです。 	ありがとうございます。引き続き、関係機関との連携を行いながら、安心して楽しく過ごせる場所、保護者の方の不安が軽減できる場所として精進していきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	Daisy kids堺	公表日	2024 年 10 月 25 日
------	-------------	-----	------------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		ホール・訓練室①(53.31㎡)、訓練室②(9.91㎡)、静養室(8.64㎡)、相談室(12.47㎡)、洗面所・トイレ2室(9.37㎡)(便器3個)、それぞれ別のお部屋を確保しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		管理者1名、児童発達支援管理責任者1名、保育士5名(常勤1名・非常勤4名)、児童指導員5名(常勤2名・非常勤3名)、運転手5名 あい・さかいサポートリーダーを配置していません。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		事業所内は児童の導線を考慮し、届くところに物を置かないことを意識した物の配置を行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎日消毒、清掃をしている。食事前後、児童の帰宅後。また、季節に合わせた壁面・装飾をしている。	児童が触れる場所は、全て次亜塩素酸ナトリウムを使用し、細かいところまで掃除をするように心がけています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		休息するための部屋(静養室)、座って過ごす部屋(相談室や訓練室)、動ける場所としてのホール等使い分けをしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	30%	70%		改善に関する意見に対し、対策を出し合い、実施しているが、振り返りや全体での共有、やりきる力はまだ弱い。業務上、話し合いに使える時間は限られているため、現実的に実行可能な仕組みづくりが急務である。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		いただいた意見に対しては、保護者会や紙面等で報告しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎朝のミーティングにて昨日の振り返りと、定期的(基本は半年に一回)職員の面談、などで意見交換をしている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		第三者評価は行っていません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		定期的に研修動画や外部の研修などの受講を行い、受講した記録を残し、実践に繋げている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		プログラムは、5領域を網羅したものを組んでいます。その他、個別支援計画書に伴った療育を行っています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		児童本人からと保護者面談等で、ニーズを確認、アセスメントを行い、集団活動の中でも実践、また個別での療育の機会を設けており、個々に合わせて実施している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		全スタッフの意見を集め、計画書に反映しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		原案の作成後は、期限を決めて全スタッフにて意見を出し合い、統一した支援ができるようより分かりやすく言語化を意識した計画書の作成をしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		スタッフ間で会議をし、プログラム立案を共有している。当日通所する児童の発達年齢に合わせたプログラムを意識しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		季節や発達段階、好みなどこどもの様子を見て、臨機応変に変更している。より多様なニーズに応えられるよう、活動内容の選択肢を広げていきたい。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		プログラムとして、集団活動の時間と個別支援活動の時間を分けて組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		療育の前には、ミーティングの時間を設定している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		療育の後には、振り返りの時間を設定している。送迎の関係上、時間が不足している際には翌日の朝のミーティングにて行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		療育の記録以外に、保護者からの相談や園からの相談の記録も必ず記録している。全員が記録に目を通しておくように、声かけをしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		半年以内のモニタリングは実施しております。都度、見直しの必要性があれば協議を行い、反映できるよう努めております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		基本的には、児童発達支援管理責任者が参加しています。可能な限り指導員も同席していく方針です。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育担当の方とは定期的に会議やミーティング時間を設けて今後について話し合っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		園と個別支援計画書の共有を行い、園への訪問を行い、児童の様子を観察すると同時に園の先生方と情報共有をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		就学支援として、支援学校や地域の小学校への見学・体験日の同席や、保護者の相談等に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%		適宜市の育成事業の利用、相談等を行っています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	30%	70%		保育所・認定こども園・幼稚園と併行通園している児童がほとんどなので、事業所主導での交流の機会を作ることとはできていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		電話やメッセージ、連絡帳のやり取りのほか送迎時に日ごろの子供の状況を伝えるように心がけています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		必要に応じて保護者様に支援方法や行動の捉え方や考え方を伝えています。		
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		お電話でのお問い合わせや見学に来所していただいた際や、契約時に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		家庭訪問、保護者面談、相談員や併行通園している園の先生も交えて面談・助言を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		保護者会を定期的に開催し、保護者同士での交流ができる時間を設けている。児童の年齢別に保護者をグループ分けする時間も設けています。その際、兄弟児の参加も行っています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		ブログやインスタグラムにて発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		データ管理、書類等は鍵付きの棚に収納し、施錠管理をしています。適宜、スタッフへの指導・再認識を行っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	30%	70%		行事等への参加を積極的に行い、交流を図ってまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		毎月、地震・火災・不審者対応などの避難訓練を実施しています。保護者へのマニュアルの周知を適宜おこなう。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		年に一度、消防署と協力して保護者同行での消防訓練を実施している。その他にも、事業所内での避難訓練は月に一度行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		契約時、健康状況を記入していただき、確認をしています。面談時等に受信状況等の最新の情報をお聞きしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		契約時、健康状況を記入していただき、確認をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		すぐにはリスクの共有ができるよう、当日・翌日の朝礼にて情報共有を行っています。その後も定期的にヒヤリハットの振り返りを職員同士で行う時間を設けている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待防止研修については年3度、研修を実施しております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		法に準じて体制を整え、事前に十分に説明を行い、了承を得た上で計画しています		